



# 学友会 会報

第25号

発行 中日本自動車短期大学学友会事務局

〒505-0077 岐阜県加茂郡坂祝町深萱1301  
TEL<0574>26-7121 FAX<0574>26-0840

URL▶http://www.nakanihon.ac.jp/gakuyu/ E-mail▶gakuyu@nakanihon.ac.jp



「レバンテ計画」の調印式(4月4日、本学にて)



実行委員長 西側通雄

## 日伊友好ソーラーカー イタリア「太陽の道」縦断走行について

学校との提携5周年を記念してソーラーカーでイタリアを走行する計画がまとまりました。

このほど、本学の創立40年とイタリア国立フエーリ工業専門

この計画は「レバンテ計画」(日出るの意味)と称し、4月4日西校園で調印されました。計画の内容は9月4日から9日までの6日間をかけローマのアツピラー街道(太陽の道)を発ちフエーリの本拠地「マラネロ市」までの578kmを走行し、その間に立ち寄った都市で自治体や学

校関係者らと環境問題・エネルギー問題について啓発活動を行う予定です。  
この計画は2001年本学、フエーリ校、中国汽車工業総公司で実施した「日中ソーラーカーシルクロード走行計画」の続編でもありません。  
この際には学友会のみならず、大変お世話になりました。今回も皆さんのご支援をお願い致します。



## 会報発刊にあたって

中日本自動車短期大学 学友会会長 丹地章夫

本学も会報発刊の時期となりました。会員の皆様方には、お

益々御健勝で御活躍のこととお慶び申し上げます。  
平成17年度の事業計画も順調に実施されており、ここに報告申し上げます。

さて、本年は中日本自動車短期大学創立40周年という、大きな節目の年となりました。記念事業として、ソーラーカーによるイタリアでの走行という、大イベントも準備されつつあります。  
この件につきましては、又次の機会に皆様にご報告できるものと思っております。

各支部の尚一層の活性化と、新支部設立に向け、皆様の御協力をよろしく願います。

さて、これまでも度々皆様方にお願ひしてまいりましたが、本年度の入学者数が定員を多少割り込む数となりました。諸先生方には、日頃よりきめ細やかな中身の濃い人間教育を目指していただいていることを、心強く感じていることにあわせ、我々OBとしましてはその御努力に対し、少しでも力添

えがでるよう、学生募集に対して尚一層の関心をお寄せ下さい。同窓生子女入試制度、あるいは学友会推薦制度についても、遠慮なく事務局にお問い合わせいただき、活用していただけることを期待します。

母校、ひいては学友会発展のために皆様のお力を是非お貸し下さい。

最後になりましたが、今回の会報発刊にあたり、多大な御協力、御援助を賜りました大学関係者並びにOB諸兄に対しまして、心より厚く御礼申し上げます。



# ご挨拶

中日本自動車短期大学

学長 脇 俊 隆



同窓会の皆様、お変わりございませんか。毎日元気で活躍のこととお慶び

申し上げます。さて、皆様に本学の近況を少し報告申し上げます。

今年、本学が開学して40年となり、人に例えれば不惑の年となります。

この節目に当たる年に創立40年記念、創立40周年の記念行事を次のように計画しております。①教育設備拡充事業②キャンパス整備事業③国際交流イベント事業④記念式典・寄付金事業⑤創立40周年記念誌発行事業であります。特に、この事業の中で、国際交流イベントは、イタリア・フェラーリ工業専門学校と共同で行う事業で「環境と交通移動体」をテーマにした企画です。事業名は「レバンテ計画」です。これはローマ・マラネ間を6日間(平成18年9月4日～9日)かけて環境に優しい移動体で走行するものです。是非応援をお願いします。

また、記念誌発行に際して貴重な本学発展に繋がる資料をお持ちの方は、是非提供をお願いします。

さて、現在短期大学を取り巻く環境は、18歳人口の減少、若者の工学離れ等によって、工学系・技術系の志願者が減少の一途を辿っています。本学は、ここ3年定員割れが続き、今年に至っては420名の入学生に止まり、大変深刻な状況下にあります。

この状況を従前の状態に回復するためには、教育環境の充実と質の高い教育の保証が必要と考えています。また、本学の専門分野は、自動車に特化した学科なので、現在の技術教育及びこれからの自動車社会に求められる技術教育を指して教育を充実・発展させる考えであります。教職員一同は、これを念頭に置いて絶えず教育努力をしております。

その成果の一つとして、国の認められた認証評価機関による第三者評価で適格認定を得たことです。また、今年3月の国家試験合格率及び就職率も大変良い結果を得ています。そして40年の歴史で得られた卒業生評価の高い実績であります。このように優れた実績のある学校ですので、是非、知人・友人にご紹介いただき入学生募集にご助力をお願いします。

最後に、同窓生の皆さんが健康に過ごされることを祈念してご挨拶と致します。

# 学友会の皆様へ感謝

中日本自動車短期大学

事務局長 岡 田 俊 治



学友会の皆様、日頃は多大なご支援とご助力をいただき、ありがとうございます。

今年度の自動車工業科の入学生は、420名となり、ここ3年間で、最少の入学生数となりました。

しかし、毎年学友会の皆様へお願いしております同窓生推薦入学試験には、過去最高の59名もの応募がありました。18歳人口が益々減少する中で、こうした皆様の助力添えに、大変感謝いたしております。今後につきましても絶大なご協力を賜りますようお願い申し上げます。

学内におきましては、毎年行っている中国協定校教員の研修生受け入れ、ヨーロッパ研修旅行、イタリア国立フェラーリ工業専門学校との相互の短期留学など、国際交流が益々活発に行われています。昨年受けた第三者評価の審査では、この点においても高い評価を受けられたことができました。

2006年度は、本学の創立40年目になり、来年の40周年に向け

て、記念講演会や教育設備の充実、キャンパス施設の増改築の他、フェラーリ工業専門学校と共同で、学生の手作りソーラーカーで、イタリアのローマからマラネ口までの約600キロメートルを走破する実験などを計画しております。

こうした計画の中には、学友会のご支援を受けて実施されるものもあり、大変ありがたく、感謝申し上げます。

2006年3月の登録試験では、過去最高の97.3パーセントの合格率となりました。就職も95パーセントを超える内定率となり、こうした高い教育実績を今後継続することができるよう、教職員一同一丸となって邁進いたしますのでございます。

お近くに来られた折には、是非お立ち寄りいただき、母校の様子をご覧くださいますようお願い申し上げます。

最後に、今後も一人でも多くの入学希望者をご紹介・ご推薦くださいますようお願い申し上げます。

# 新任教員



的野 大樹さん

学友会の皆様、私は平成11年に本学の本科を卒業し、その年から始まった車体整備専攻科の一期生として入学、卒業しました。以来5年半勤めた会社を退職し、本学でお世話になることになりました。以前勤めていた会社では、鍍金・塗装を主に仕事をしていました。自分も車体整備専攻科で鍍金・塗装の知識、技術を学んで会社に入社し、その知識を活かし働いてきましたが、実際、知識だけではできない経験や特殊な技術が必要でした。

そのような、自分自身が苦労してきたことや技術の習得のコツなどを今から自動車業界に進もうとする学生たちに伝えていき、社会に出て即戦力となり得るような教育を目指し努力していきます。

しかし、今まで人に教えるという経験が少なかつたため、いざ教育となると少々戸惑いもあります。が、学生時代に教えていただいた先生方のように熱心で理解しやすい教育を目指し、学生教育・学生指導に励んでいきたいと思っております。

最後に、学友会の皆様の益々のご活躍とご繁栄を祈念申し上げます。

# レバンテ計画に参加する教員と学生

## ソーラーカー製作

### 状況の報告



佐々木佳久さん

4月中旬に製作スタッフを学生から募集したところ、10名希望があり製作が開始されました。学生たちはソーラーカーを製作した経験がないため、教員スタッフと協力しながら作業が進められています。

これまで製作したソーラーカーは、アルミパイプを用いてフレームをつくって行きました。今回は、板を切り合わせて製作されます。板とは、蜂の巣状の板をカーボン繊維でサンドイッチしてつくられたものです。以下に作業の進行状況を報告します。

4月はデザインを決め、20分の1スケールモデルの製作や各部品の図面作成を行いました。

5月のゴールデンウィークにフレーム材料の一部が届き、切り出しが行われました。しかし、ボディ材を接着する樹脂が届かないため、フレーム製作は一時中断されました。残りの材料と樹脂が届くまで、他の部品の製作を行います。

6月になり材料と樹脂が届きま

した。これにより急ピッチで作業が進められています。

まだソーラーカーが完成していませんが、イタリヤで無事走行できるようスタッフ全員がんばりま

## イタリヤ縦断走行



本科2年 宮崎 惇史さん

今年、中日本自動車短期大学創立40周年記念として計画された「イタリヤ太陽の道、縦断走行試験」は本学の在校生とEV研究会の先生方と一からソーラーカーを製作し、できたソーラーカーをローマに送り、そこで提携しているフェラーリ校の方々と合流しローマからマフネロまで約600kmの道を行くという計画です。私たちが在校生は現在ソーラーカー製作に意欲を燃やし、毎日放課後研究室にこもり先生方と一致団結してソーラーカー製作に力を入れています。ただいまのところ、ソーラーカーの足回り(ブレーキ装置を中心に)を製作中です。イタリヤでは完走を目指し頑張ろうと思っています。OBの皆様、ご支援をお願いいたします。

## OB近況



自動車工業科 第三十七期生 杉浦 啓子さん

私は中日本自動車短期大学を平成16年度に卒業しました。そして、名古屋スバル自動車株式会社に就職しました。今は、名岐バイパス西春店で整備士として働いています。このお店は昨年の7月にオープンし、もうすぐ1年を迎える、とてもキレイなお店です。毎日、キレイな工場で仕事ができて楽しいです。

整備士2年目で、だいぶ仕事にも慣れました。今は、主に車検や12ヶ月点検などの点検整備をしています。どのようになら早くできるのかを考えたり、どの作業でつまづいたのかを見つけて出して、作業時間を短縮できるように日々勉強しています。いつもよりも早く作業を終わらせられたときはとてもうれしく、心の中で「やったあー!」と思います。

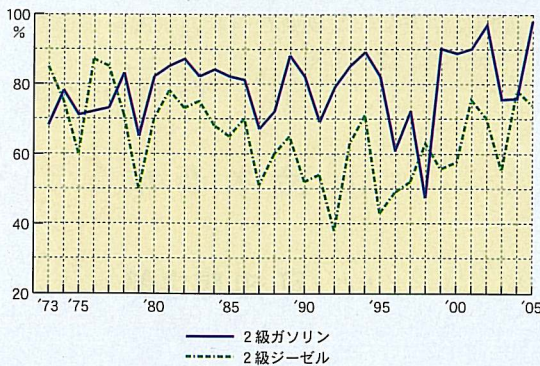
上司も中日本自動車短期大学の卒業生で、仲良くさせてくださいたいです。辛いこともありますが、毎日楽しく仕事をしています。今、中日本自動車短期大学で学んだ基礎がとても役に立っていると実感しています。

## 登録試験の合格率

### 技術研修課

3月26日に実施された2級整備士登録試験の結果を報告します。今年度は第38期卒業の学生が受験しました。昨年、一昨年と芳しくない合格率だったため、早い時期から登録試験の対策を行い、また、直前の合宿を1日ふやし、万全の体制で臨みました。結果は2級ガソリンの合格率は97・7%、2級ジーゼルの合格率は73%となりました。ガソリンに関しては本学が始まって以来の最高の数字となりました。結果が出たことは喜ばしいことですが、残念な結果に終わった学生がいることも事実です。そ

【認定試験合格率の推移】



れを踏まえて、今年度は前期の時間割から、登録試験対策のための授業を組み入れ、できるだけ高い合格率を目指して取り組んでいきたいと思っています。最後に、学友会の皆様のますますのご活躍と発展を祈念いたします。

## 同窓生推薦入学試験の実施について

「同窓生推薦入学試験」は、同窓生の推薦があれば、高等学校長の推薦書は必要ありません。また、選抜方法は「面接」のみになります。また、中日本自動車短期大学卒業生のご子息・ご息女を推薦された場合は、入学金20万円を全額免除、卒業生または在学生の紹介による推薦の場合は入学金の半額(10万円)が免除になります。皆様のご子息・ご息女、兄弟姉妹、友人・知人の方々の中で、本学に入学を希望される方がいらっしゃれば、ぜひこの入試制度をご活用下さい。くわしくは、同封資料をご覧ください。

### 編集スタッフより

学友会会報25号発刊にあたり、ご協力いただきました方々に心より厚く御礼申し上げます。

## 2004年度 収支計算書

2004年8月1日～2005年7月31日 (単位：円)

科 目	当 期			前 期 決 算 額
	予 算 額	決 算 額	差 額	
<b>収入の部</b>				
基本財産運用収入	10,000	9,508	492	9,712
会費・入会金収入	10,700,000	10,960,000	▲ 260,000	11,060,000
雑収入	6,000	187,575	▲ 181,575	11,679
受取利息	3,000	640	2,360	3,129
雑収入	3,000	186,935	▲ 183,935	8,550
特定目的基金取崩益				3,318,576
当期収入合計 (A)	10,716,000	11,157,083	▲ 441,083	14,399,967
前期繰越収支差額 (B)	23,267,547	23,267,547	0	23,623,862
収入合計 (C) ((A)+(B))	33,983,547	34,424,630	▲ 441,083	38,023,829
<b>支出の部</b>				
事業費	7,370,000	7,953,197	▲ 583,197	11,162,583
会報制作費	1,650,000	1,864,067	▲ 214,067	1,613,850
特別企画費	700,000	0	700,000	3,932,762
35周年記念名簿作成費	0	0	0	1,500,000
エコノパワー協賛金	10,000	8,980	1,020	13,303
記念品費	2,150,000	2,397,962	▲ 247,962	2,133,337
支部活動費	1,000,000	1,270,714	▲ 270,714	658,231
広報費	200,000	470,000	▲ 270,000	0
補助金	400,000	613,474	▲ 213,474	286,600
福利費	650,000	828,000	▲ 178,000	522,000
奨学金	500,000	500,000	0	500,000
名簿改定準備金	100,000	0	100,000	0
事業雑費	10,000	0	10,000	2,500
会議費	1,950,000	909,810	1,040,190	1,335,954
総会費	300,000	163,559	136,441	369,011
役員会費	250,000	105,861	144,139	41,193
役員会旅費	1,400,000	640,390	759,610	925,750
事務費	2,410,000	2,145,698	264,302	2,244,463
人件費	450,000	450,000	0	450,000
通信印刷費	1,800,000	1,525,636	274,364	1,662,557
事務用品費	10,000	12,990	▲ 2,990	0
事務機器リース費	50,000	123,480	▲ 73,480	113,190
事務雑費	100,000	33,592	66,408	18,716
雑支出	40,000	28,879	11,121	3,570
慶弔費	10,000	28,879	▲ 18,879	3,570
退職者慰労金	30,000	0	30,000	0
基金財産設定支出	15,000,000	15,000,000	0	0
学友会館建設基金	10,000,000	10,000,000	0	0
奨学金積立基金	5,000,000	5,000,000	0	0
運用収入正味財産繰入	10,000	9,508	492	9,712
予備費	100,000	0	100,000	0
当期支出合計 (D)	26,880,000	26,047,092	832,908	14,756,282
当期収支差額 (E)((A)-(D))	▲ 16,164,000	▲ 14,809,009	▲ 1,273,991	▲ 356,315
次期繰越収支差額 (E)+(B)	7,103,547	8,377,538	▲ 1,273,991	23,267,547

(注1) 定期預金を取り崩して、学友会館建設基金・奨学金積立基金とした。  
 (注2) 器具備品は、備忘価額を残し償却した。

## 2004年度 貸借対照表

2005年7月31日現在 (単位：円)

科 目	2004年度 (A)	2005年度 (B)	増 減 (B)-(A)
<b>資産の部</b>			
流動資産	23,400,948	8,793,712	▲ 14,607,236
現金	56,559	10,152	44,962
普通預金	2,308,382	2,002,048	▲ 306,334
郵便貯金	2,074,971	2,728,585	▲ 653,614
定期預金	18,961,036	3,961,558	▲ 14,999,478
固定資産	41,233,800	54,519,598	13,285,798
特定目的資産	39,510,089	54,519,597	15,009,508
学友会館建設定期預金	24,510,393	34,516,290	10,005,897
奨学金積立定期預金	14,999,696	20,003,307	5,003,611
有形固定資産	1,723,711	1	▲ 1,723,710
器具備品	1,723,711	1	▲ 1,723,710
資産の合計	64,634,748	63,313,310	▲ 1,321,438
<b>負債および正味財産の部</b>			
負債	133,401	416,174	282,773
流動負債	133,401	416,174	282,773
未払金	130,401	416,174	285,773
預り金	3,000	0	3,000
正味財産	64,501,347	62,897,136	▲ 1,604,211
(うち特定目的資産)	39,510,089	54,519,597	15,009,508
(うち正味財産増加額)	▲ 3,665,179	▲ 1,604,211	▲ 2,060,968
負債および正味財産の合計	64,634,748	63,313,310	▲ 1,321,438

## 監査報告書

私たちは、会則24条の規定に基づき、中日本自動車短期大学学友会の平成16年8月1日から平成17年7月31日までの2004年度における会務の執行並びに同事業年度一般会計について監査を実施しました。

監査の結果、会務の執行は法令及び規約に従い、総会並びに役員会の議決に基づき誠実に行われており、また、上記の一般会計は適正に処理されており、各計算書類は学友会の収支及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。

平成17年9月20日

監査役 鈴木 泰成



監査役 可知 陽之郎



2005年度

## 事業計画

- 総会
  - 開催場所、日程については役員会で決定する。
- 会報
  - 見やすく体裁を検討する。インターネットへの移行を検討する。
  - 学友会ホームページ
    - 内容を充実させる。
- 支部活動
  - ソーラーカーを使用し支部活動の積極的な取り組みをする。
  - 岐阜支部を設立する。
  - キャンパス・グッズ
    - 活用方法を検討する。
  - 学園・大学との懇談
    - 理事や大学執行部との懇談会を行う。
    - 准会員との交流
      - 准会員への補助を行う。
      - 学生自治会クラブ役員との交流会を10月中旬に予定。
- 退職者記念品
  - 定年退職者に記念品を贈る。
- 卒業記念品
  - 学友会規約を配布する。
  - 30000円程度の記念品を贈る。
- 奨学金
  - 在学生に対して奨学金を支給する。
  - OBへの福利厚生
    - 長島温泉割引を行う。
  - 適切なものがあれば随時考える。
  - 大学への協力体制
    - 学生募集への協力をする(同窓生子女推薦、広報活動でのソーラーカー貸出等)。
  - 大学主催のエコノパワー大会に協賛する。
- その他
  - 創設者故神野浅義氏の銅像の建造に対する協賛を行う。
  - ポッカ1000km参加に伴う費用の補助を行う(補助金200万円、タイヤ6セット及びタイヤリバー等の装備品)。